

市長から市民のみなさんへ

80

山形県野田市長 白井 博文

「ごみ有料化」にご理解をお願いします

10月からはじまる「ごみの有料化」についてのチラシがこの広報紙とともに、みなさまのお手元に届いていることと思います。指定ごみ袋1枚あたり、2円から5円の料金を上乗せする形でご負担していただくこととなります。何かと値上げが続く折りではありますが、ご理解、ご協力をよろしくをお願いします。

すでに耐用年数を超えている環境衛生センターの焼却炉の修理、修繕に毎年、多額の経費がかかっていることをみなさんにご存知でしょうか？今回の有料化により市民のみなさんからいただいた料金は、そのようなごみ処理経費に限ってのみ使うことができる基金（＝貯金）に積み立てていき、近い将来、炉の全面改修か建て替えが必要となったときなどは、その一部にも充てる予定にしています。一方で、市民のみなさんの側からすれば、指定ごみ袋購入時に40円から100円ほど出費が増えることになるわけですが、これを機にふだん何気なく出している家庭ごみについての意識を高めていただき、なお一層、ごみの減量化、再資源化の取り組みがすすむことについても期待して止みません。結果、焼却施設の延命化にもつながればまさに二重の意味で今回のごみ有料化の意義は大きいものと考えます。

重ね重ねになりますが、「ごみ有料化」に対するご理解、ご協力をよろしくお願いたします。

対話の日

【いずれの会場も19:00から】



9月25日(木)沖部公会堂
10月 9日(木)千崎西集会所

市職員の特殊勤務手当について

今号と前号9月1日号で「市職員特殊勤務手当検討委員会」の委員募集の記事を掲載しています。これは、業務の特殊性に応じて現在、職員に対して支払われている手当について、経営側、労働側、学識経験者のみなさんで構成される協議の場で、支給の是非について検討していただくものです。どうしても主観的になりがちな私の特殊勤務手当に対するイメージを払拭し、個々の案件について客観的な判断をしていただくことを期待しています。しかしながら、委員会での提言を私^の鵜呑みにするつもりはありません。あくまでも参考意見として位置づけ、市職員労働組合等との交渉に臨んだ後、平成21年度予算に反映させるつもりです。

最後に少し残念なご報告になりますが、8月末で市の人口がはじめて6万7千人を割りこみました。合併時の人口が6万8千人でしたから、予想以上に早く少子高齢化の波が押し寄せてきていることを表すまさに"衝撃"の数値です。企業誘致、少子化対策など、"待ったなし"の改革が迫られています。

10月1日から

ごみ処理を有料化します

～ ご理解、ご協力をお願いします ～

10月からごみ指定袋の料金に上乗せする形でごみ処理の有料化を導入します。なお、従来の指定袋はそのまま12月31日まで使用できます。(1月1日以降は証紙シールの貼付が必要となります。) ※詳しくは9月16日配布の「ごみ有料化」に関するチラシをご覧ください。

【新しい指定ごみ袋の料金】

指定ごみ袋の種類	料金 (1枚あたり)
大 (45ℓ用)	袋代+ 5円
中 (35ℓ用)	袋代+ 4円
小 (20ℓ用)	袋代+ 2円

【問い合わせ先】環境課 ☎ 82・1143